



祝辞

東京島根県人会会長 坂根正弘さん

この会は2度目ですが、首都圏にある島根の32の「ふるさと会」すべてをまだ回り切れていません。難波さんから紹介がありまして、今日顔を出していただきありがとうございます。みなさん揃って米子を元気にしようという思いがあるなら行きますが・・・と条件を付けたら、みなさん揃って来られました。しかし、その夜の食事で「実は、このメンバーで集まるのは・・・」との事。今、私は会社の方は身を引き、大半は政府の仕事をしています。2012年に当時野党であった自民党から「日本経済再生本部を立ち上げたから・・・」と呼ばれ、その時デフレ脱却、地方創生と「東京は人や物・金を地方からではなく、国際的に集める」という話をしました。地方創生は私が言い出した事であり、これはやむを得ず受けました。その他に総合資源エネルギー調査会などの役もやらされましたが、これらは降りて現在は地方創生一本に絞って各地を回っています。

この国はどこへ行っても大学と行政、産業界の交流がないことを痛感します。す。鳥取大学の医学部から講演を頼まれ米子に行きましたが、その前に「学長をはじめとし市長、商工会議所会頭、銀行の頭取・・・」と条件を付けたら、みなさん揃って来られました。しかし、その夜の食事で「実は、このメンバーで集まるのは・・・」との事。もつとしっかり連携をとっていかないと学生は地元に残らないし、新しい仕事も生まれて来ません。若い人・学生も一緒にやってみんなで考える、知恵を出す事が重要であり、若い人も自分たちが参画した企画ならば、なんとか実現できないか考えるはずで、年寄だけで考えた事に若い人は付いて来ません。私も78歳になります。創生という課題の解決に頑張ってみようと考えています。今度の県人会の「総会とふれあいの集い」に、みなさん揃ってお越しください。くようお願いします。さて、大学と行政、産業界の交流がないことを痛感します。



祝辞

島根県東京事務所 管理行政部長 古満 繁さん

今日は雲南市東京ふるさと会が盛大に開催されます。まずはお喜び申し上げます。役員の方々のご尽力と故郷を愛するお集まりのみなさんの心の表れであり、心から敬意を表します。私からは県の動きと東京事務所を紹介させていただきます。この4月に49歳と若い丸山知事が就任されましたが、たまたま本年度は新しい島根県をどのようにもっていくかという総合戦略を創る年で、地方創生という課題の解決や人口減少に打ち勝つための戦略を一生懸命考えている所です。知事の動きで目新しいものとしては「車座トーク」「女性活躍100人会議」「石見の日」といった意

・ふるさと近況報告・

雲南市政策企画部部長 佐藤満さん

雲南市教育長 景山昭さん

5分だけ時間を・・・。私からは3つのホットな情報をお伝えします。①11月19日に吉田町の国民宿舎晴嵐荘がリニューアルオープン。②7月14日に三刀屋町のコトリエットがオープン。地産地消レストランや居酒屋など6店舗が集積した食の複合施設、皆さんお帰りの際には晴嵐荘と合わせご利用を！③コウノトリが3年連続で4羽巣立ちしました。④おまけ・・・⑤若者チャレンジ(U・C・C活動)の一環としての「トカイナカヴィレッジ事業」の紹介と「来年のふるさと会では学生が発表する機会を設けて欲しい。その際の会費は免除して！」という提案・請願⑥企業チャレンジとしてのヤマハ発動機と竹中工務店の活動概要の紹介。⑦次のチャレンジはみなさんの番。それはふるさと納税です！

今日は、みなさんにも写真をはみさんご存じの永井隆さんです。飯石村出身の先生の功績を後世に伝えるため昭和45年に旧三刀屋町が永井隆記念館を建てましたが、老朽化が進んだため今年度から新たな記念館の建設工事に着手し令和3年4月にオープンする予定です。お願いとは本館ではなく平和の鐘モニュメントの事です。私たちはこれに市だけではなく平和に対する思いをお持ちの方と一緒に建て、博士の思いとみなさんの思いを込めて朝晩の鐘を鳴らそう、そしてモニュメントには賛同いただいた方の名前を刻んで後世に残そうと考えています。みなさんの故郷を思う心をふるさと納税という形で寄せて頂ければ、これ以上の喜びはありません。ていこうと考えています。皆さんには是非とも島根県を利用して頂き、友人知人の方に島根県の情報を発信していただくようお願いいたします。本日この会合が楽しく有意義なものとなりますよう祈念し私の挨拶と致します。今日はおめでとございます。

東京事務所の目的はふるさと島根県と首都圏・東京を結ぶ接点のようにな役割を担う事です。最も重要な課題は産業振興であり首都圏の企業に島根に進出してもらう事です。もうひとつは県の情報発信であり、特産品の販売促進や観光情報の発信、Uターン(移住定住)の支援窓口活動を盛り上げ



雲南市 市議会議長 山崎正幸さん (乾杯風景)



うんなんべり

(雲南市からのお知らせ)
トカイナカ(都会の田舎)を雲南市のサテライトキャンパスに！





雲南市は川崎市多摩区の農業体験施設「トカイナカヴィレッジ」とタッグを組み、農業を切り口に地方創生を図る取り組みを始めました。この施設は地域課題の克服に挑戦する若者を育成する雲南コミュニティキャンパス(U・C・C)の関東版として位置づけられ、農業交流やUターンの窓口の役割も期待されています。7月14日には開校式がおこなわれ、集まった学生たちは今後の取り組みについてアイディアを出し合ったり、雲南市産の野菜を育てたりして交流を深めました。11月16・17日の東京Uターンフェアにあわせ、トカイナカで雲南市を体験できるイベントを計画しています。ご期待ください！

東京島根県人会 総会参加報告

東京島根県人会「総会とふれあいの集い」が9月1日に椿山荘で総勢600人が参加し盛大に開催されました。お定まりの功労者表彰、県民の歌唱、来賓挨拶などに続き雲南圏域(雲南、奥出雲、飯南)が企画したアトラクションに。先ずは活弁士・景山さんがビデオを用いて3市町を紹介、次いで速水市長の挨拶、そして野見宿禰を生んだ赤名の相撲甚句会のみなさんが自慢の喉を披露・・・と、ここでサプライズ！ 4代式守伊之助さんが紋付き袴姿で登場し「この一番にて・・・」の千秋楽の口上を。この時だけは会場全体がほんとうに静まり返りました。そして、相撲甚句「当地興行」の一節も披露。そしてオペラ歌手の下垣真希さんが「長崎の鐘」を歌唱して永井隆記念館のリニューアルオープンをアピール。

雲南市東京ふるさと会役員

(平成31・令和2年度 同列内50富順)

▲会長 難波明 ▲副会長 (会長代行) 奥田勲 ▲同 大田宣也 ▲理事(事務局長) 渡部弘 ▲理事(事務局次長) 舟越久 ▲同(事務局次長) 堀江功 ▲同(事務局次長) 赤名忠 ▲同(事務局次長) 山孝一 ▲福間偉津子 ▲同(会計) 森山伸夫(兼任) ▲同 石田信雄 ▲黒田康之 ▲小林己久男 ▲竹部友久 ▲田中成芳 ▲深田恭司 ▲藤原厚司 ▲松下陽子 ▲山本増雄 ▲渡部一美(新任) ▲会計監査 上代哲也 ▲山根勝美 ▲顧問 竹内一雄 ▲川本昭夫(新任)

★退任：野々村興太郎(前副会長) 青木繁之(前理事) 小林千寿子(同) 白築章男(同)

事務局からのお知らせ

★次回(第7回)交流会は、令和2年7月11日(土曜)に開催予定です。★10月4日に有志で「福島県石川町応援ツアー」に行つてきます。来年も同様のツアーを企画しますので、今回不参加の方も来年は是非ご参加をお願いします！

